

抱えた。<sup>むすう</sup>無数の波しぶきがセレナを取り囲み、  
飲み込むように<sup>おそ</sup>襲い掛かった。<sup>しおから</sup>塩辛い海の水  
が口と鼻に流れ込み、顔が<sup>なみま</sup>波間に浮き沈みし  
た。<sup>おおなみ</sup>大波に襲われたセレナは力をなくし、そ  
の意識は次第にぼやけていった。

波はセレナをポイプビーチに運んだ。<sup>いちめい</sup>一命  
を取り留めたセレナはノートを抱きしめたま  
ま、口の中の苦味は海水なのか涙なのか分か  
らずにいた。<sup>よわよわ</sup>弱々しく目を開けると、<sup>もうろう</sup>朦朧と  
している目の前にミスエンジェルが立ってい  
た。ミスエンジェルは、<sup>わかい</sup>和解するためにビー  
チへセレナを探しにやって来たのだが、その  
状況を見て、すぐに自分を責め、<sup>ざいあくかん</sup>罪悪感を覚え